

調査結果の概要

1	実技に関する調査	(1) 体力合計点の経年変化	8
		(2) 各種目別の傾向	8
		(3) 総合評価の経年変化	9
		(4) 都道府県の状況	10
2	1週間の総運動時間	(1) 1週間の総運動時間の前年度との比較	10
		(2) 1週間の総運動時間と総合評価との関連	11
3	体格（肥満・痩身傾向）と 体力、1週間の総運動時間との関連		11
4	人数規模別にみた 体力、1週間の総運動時間との関連		12
5	児童生徒に対する 質問紙調査	(1) 体力・運動能力の高い児童生徒の特徴	13
		(2) 運動やスポーツへの肯定感についての経年変化	14
		(3) 家の人と運動やスポーツをする児童生徒の状況	14
		(4) 体育・保健体育の授業に対する受け取め	15
		(5) 生活習慣と体力との関連	16
		(6) テレビ、ゲーム、携帯電話等の利用と体力との関連	16
		(7) 健康三原則と体力との関連	16
6	学校に対する 質問紙調査	(1) 体力合計点の高い学校の取組	17
		(2) 調査対象学年以外における新体力テストの実施状況	17
7	教育委員会に対する 質問紙調査		18

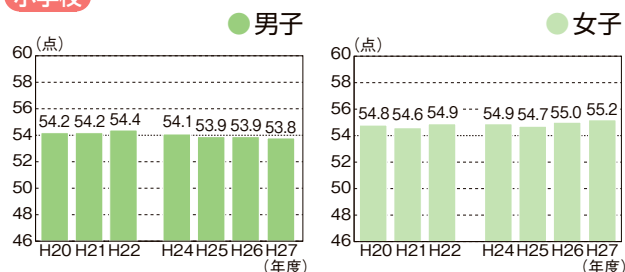
1. 実技に関する調査

(1) 体力合計点の経年変化

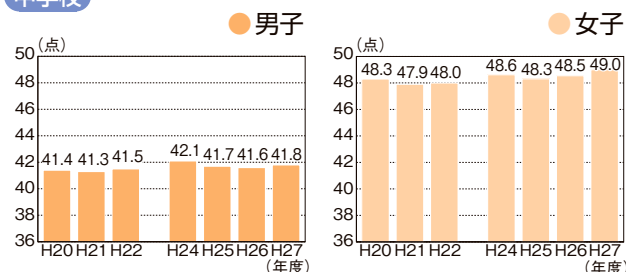
平成27年度の体力合計点の平均は、小学校は男子が53.8点、女子が55.2点、中学校は男子が41.8点、女子が49.0点であった。小学校及び中学校ともに女子が、平成20年度の調査開始以降、最も高い値であった。小学校男子は、調査開始以降、最も低い値であった。

〔体力合計点〕

小学校



中学校



(2) 各種目別の傾向

実技調査の種目別にみた場合、小学校男子の上体起こし、長座体前屈、小学校女子の上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走が、平成20年度の調査開始以降、最も高い値であった。一方、小学校男子の握力、立ち幅とび、ソフトボール投げ、小学校女子の握力、ソフトボール投げが調査開始以降、最も低い値であった。

小学校

男子

	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (点)	20m シャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ソフトボール投げ (m)
平成27年度	16.45	19.58	33.05	41.60	51.64	9.37	151.27	22.51
平成26年度	16.55	19.56	32.87	41.61	51.67	9.38	151.71	22.89
平成25年度	16.64	19.54	32.73	41.42	51.40	9.38	152.09	23.18
平成24年度	16.71	19.44	32.59	41.59	51.60	9.36	152.36	23.77
平成22年度	16.91	19.28	32.58	41.47	51.28	9.38	153.45	25.23
平成21年度	16.96	19.28	32.55	40.81	50.06	9.37	153.66	25.41
平成20年度	17.01	19.12	32.68	40.99	49.39	9.39	153.96	25.39

女子

	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (点)	20m シャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ソフトボール投げ (m)
平成27年度	16.05	18.41	37.45	39.56	40.70	9.62	144.80	13.76
平成26年度	16.09	18.26	37.22	39.37	40.30	9.63	144.79	13.89
平成25年度	16.14	18.06	36.89	39.07	39.67	9.64	144.59	13.92
平成24年度	16.23	17.93	36.70	39.24	39.95	9.63	144.94	14.21
平成22年度	16.37	17.75	36.79	39.18	39.68	9.65	145.28	14.55
平成21年度	16.34	17.65	36.64	38.49	38.74	9.64	145.14	14.61
平成20年度	16.45	17.63	36.64	38.77	38.72	9.64	145.77	14.85

※最高値はピンク、最低値はブルーで網掛けしている。
 ※50m走は、値が小さいほど記録が優れている。

実技調査の種目別にみた場合、中学校男子の反復横とび、50m走、中学校女子の上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とびが、平成20年度の調査開始以降、最も高い値であった。一方、中学校の男女ともに握力、ハンドボール投げが調査開始以降、最も低い値であった。

中学校

●男子

	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座 体前屈 (cm)	反復横とび (点)	持久走 1500m (秒)	20m シャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ハンドボール 投げ (m)
平成27年度	28.91	27.35	43.04	51.63	393.42	85.28	8.01	194.11	20.61
平成26年度	29.00	27.36	42.87	51.31	393.74	85.02	8.03	193.44	20.81
平成25年度	29.21	27.50	43.05	51.08	394.63	84.72	8.04	193.72	20.96
平成24年度	29.57	27.43	43.18	51.48	392.58	85.77	8.02	195.33	21.15
平成22年度	29.70	26.87	42.97	51.01	397.36	84.15	8.05	195.31	21.18
平成21年度	29.82	26.67	42.89	50.48	396.81	83.13	8.05	194.65	21.25
平成20年度	30.05	26.70	43.01	50.49	396.50	83.36	8.06	195.30	21.27

●女子

	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座 体前屈 (cm)	反復横とび (点)	持久走 1000m (秒)	20m シャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ハンドボール 投げ (m)
平成27年度	23.65	23.18	45.55	46.10	290.60	57.79	8.84	167.23	12.77
平成26年度	23.68	22.99	45.25	45.64	291.18	57.50	8.87	166.47	12.81
平成25年度	23.74	22.96	45.15	45.27	293.23	57.00	8.88	166.10	12.90
平成24年度	23.95	22.77	45.08	45.49	292.88	57.64	8.87	167.08	13.04
平成22年度	23.86	22.25	44.66	44.99	295.67	56.19	8.90	166.47	13.20
平成21年度	23.96	22.04	44.42	44.57	294.52	56.22	8.90	165.97	13.37
平成20年度	24.22	22.21	44.56	44.57	293.15	56.30	8.89	166.59	13.51

※最高値はピンク、最低値はブルーで網掛けしている。
※持久走、50m走は、値が小さいほど記録が優れている。

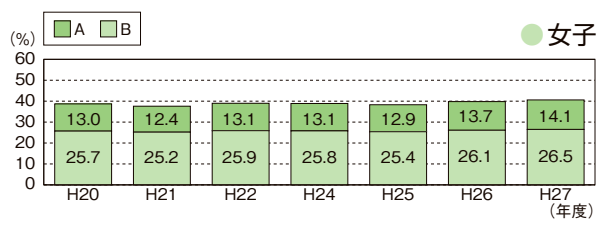
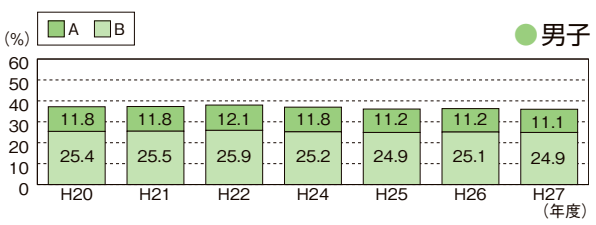
(3) 総合評価の経年変化

小学校女子及び中学校女子においては、総合評価A・Bの割合が平成20年度の調査開始以降、最も高く、総合評価D・Eの割合が最も低かった。一方、小学校男子においては、総合評価A・Bの割合が調査開始以降、最も低く、総合評価D・Eの割合が最も高かった。

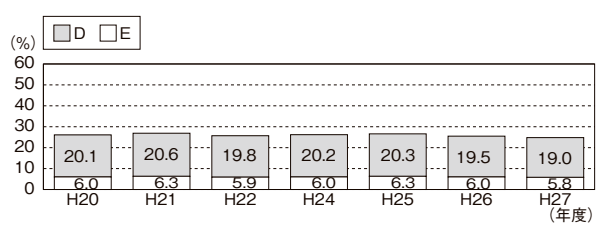
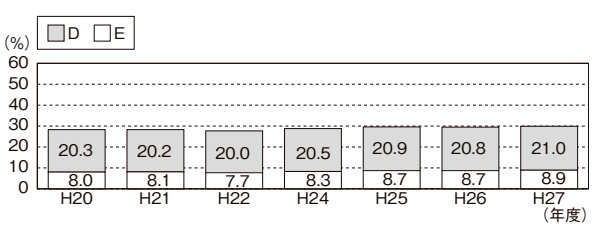
【総合評価】

小学校

(A・B率)

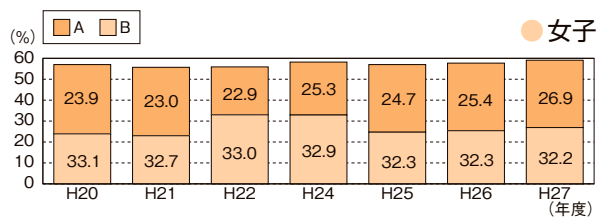
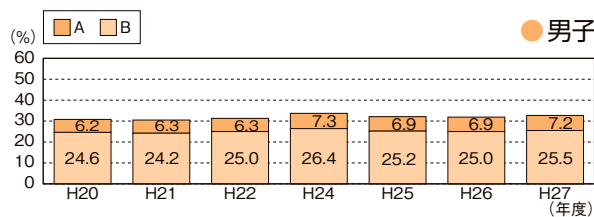


(D・E率)

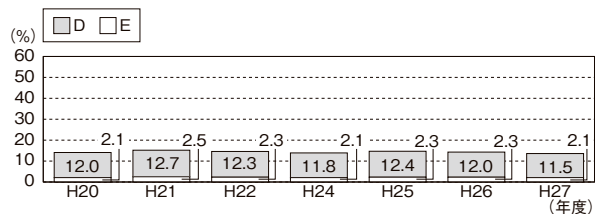
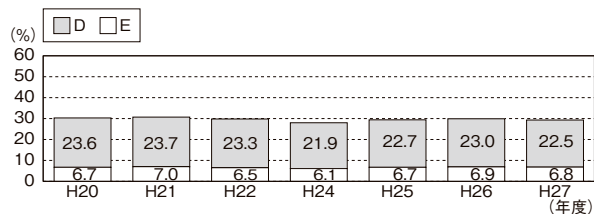


中学校

(A・B率)



(D・E率)

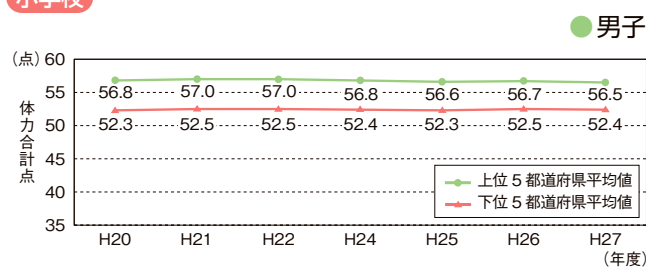


(4) 都道府県の状況

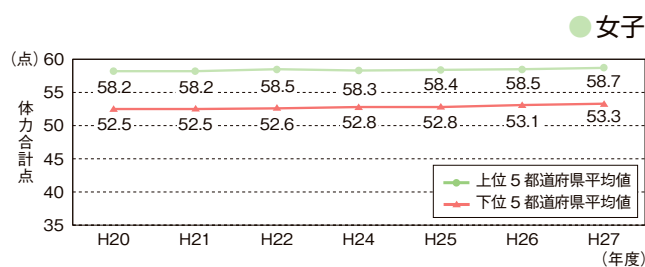
各年度における上位及び下位のそれぞれ5都道府県の体力合計点の平均値について経年的な変化をみると、特に女子で、上位及び下位ともに、ゆるやかな上昇がみられた。上位5都道府県と下位5都道府県の平均値の差は、小学校及び中学校の男女ともに、平成21年度前後でのピーク時から年々縮まってきており、平成27年度には、その差は最も小さくなった。

〔上位・下位の5都道府県の体力合計点の平均値〕

小学校

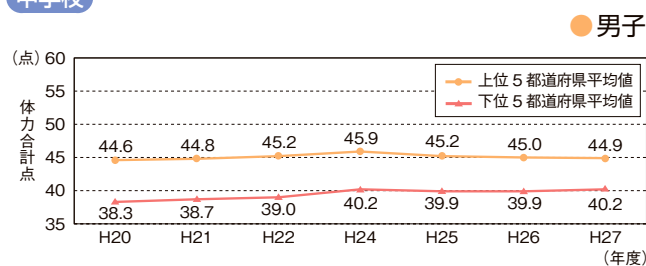


上位と下位の差	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27
	4.43	4.52	4.51	4.37	4.25	4.23	4.03

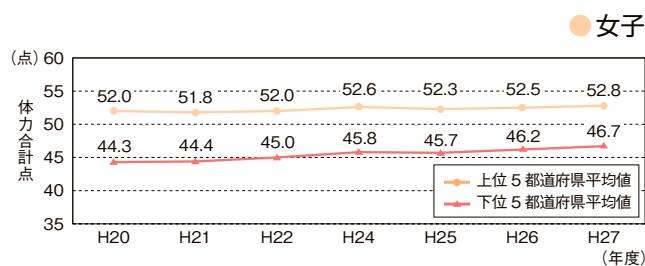


上位と下位の差	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27
	5.68	5.72	5.90	5.45	5.52	5.43	5.35

中学校



上位と下位の差	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27
	6.37	6.11	6.27	5.67	5.31	5.07	4.71



上位と下位の差	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27
	7.71	7.44	7.04	6.89	6.57	6.32	6.10

※最大値は数値をブルーで、最小値はピンクで網掛けしている。

2. 1週間の総運動時間

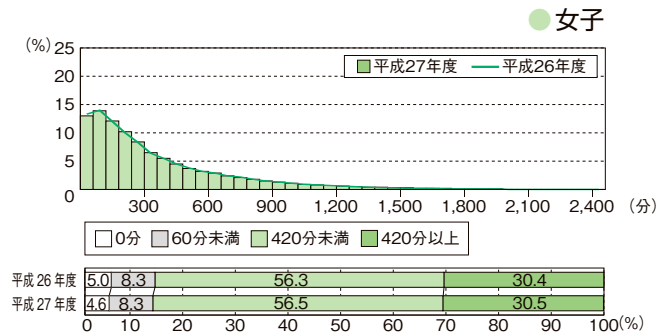
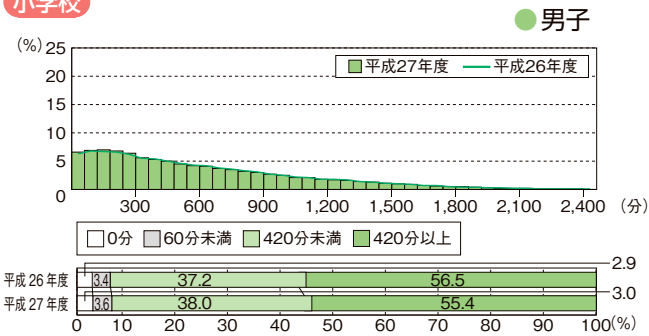
(1) 1週間の総運動時間の前年度との比較

1週間の総運動時間については、中学校において、男女ともに二極化がみられた。また、1週間の総運動時間が0分の児童生徒は、小学校男女及び中学校男子で約3~5%、中学校女子では約14%を占めた。

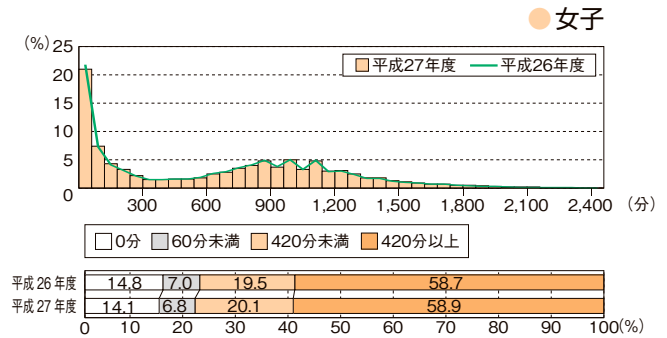
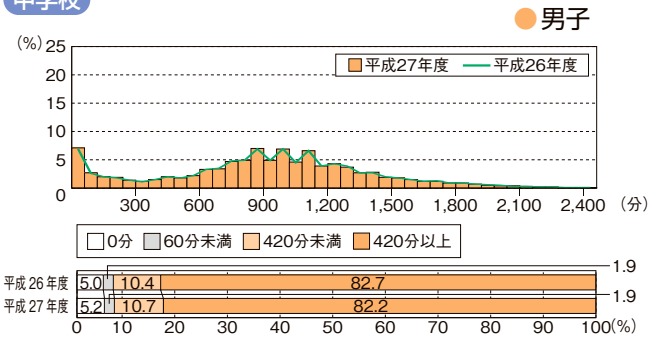
1週間の総運動時間が60分未満(0分を含む)の児童生徒の割合は、前年度より小学校女子では0.4ポイント、中学校女子では0.9ポイント減少した。その一方で、小学校男子では0.3ポイント、中学校男子では0.2ポイント増加した。

〔1週間の総運動時間の分布の前年度との比較〕

小学校



中学校

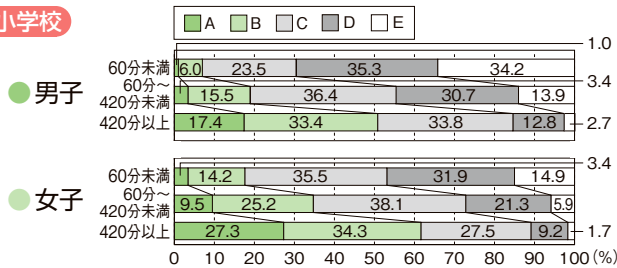


(2) 1週間の総運動時間と総合評価との関連

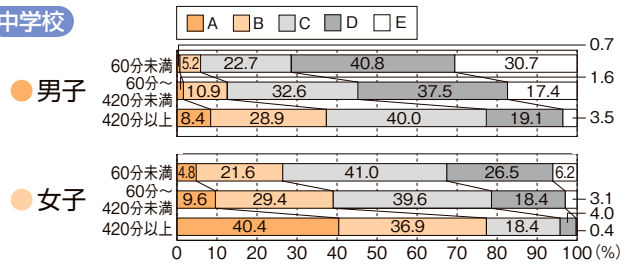
1週間の総運動時間が長い児童生徒ほど、総合評価A・Bの割合が高かった。

〔1週間の総運動時間ごとの総合評価の割合〕

小学校



中学校

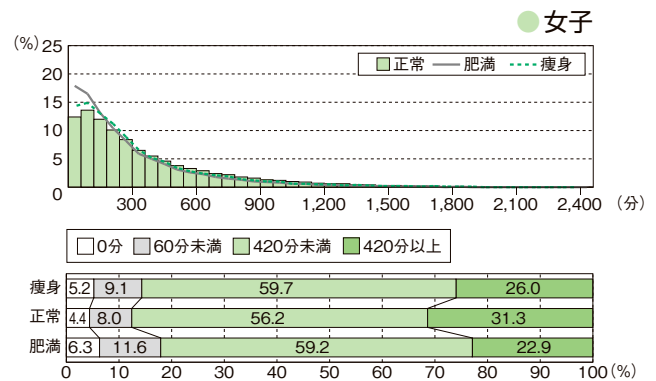
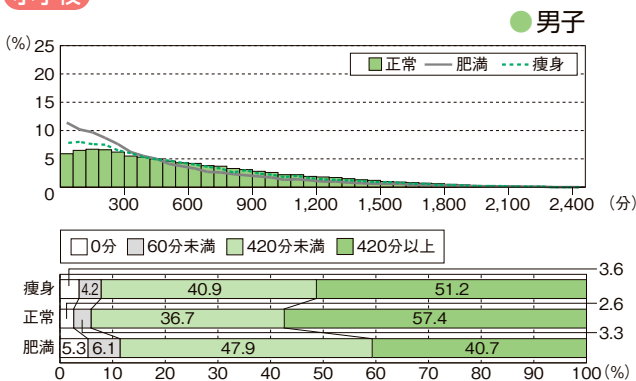


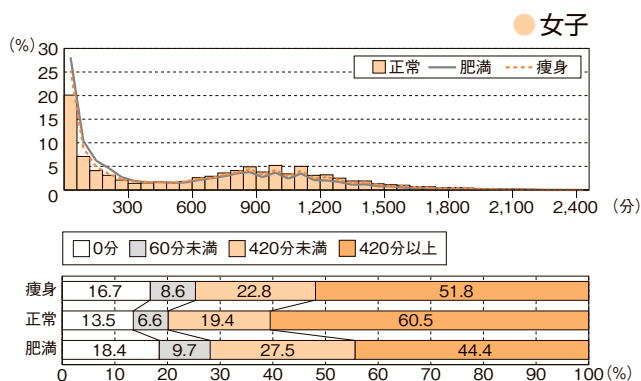
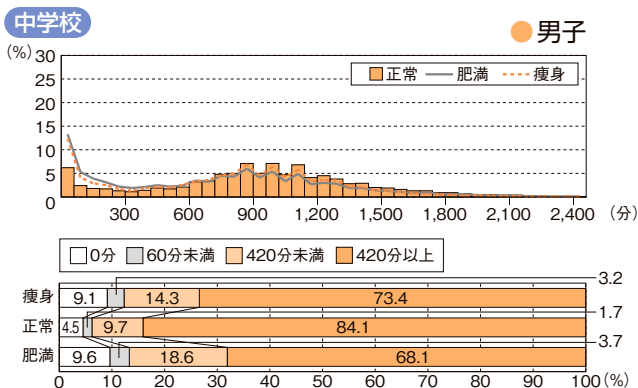
3. 体格(肥満・痩身傾向)と体力、1週間の総運動時間との関連

体格と運動時間との関係を見ると、小学校及び中学校の男女ともに、肥満・痩身の児童生徒は、1週間の総運動時間が60分未満(0分を含む)の割合が高かった。体格と体力合計点との関係でも、肥満・痩身の児童生徒は、小学校及び中学校の男女ともに体力合計点が低く、総合評価においても、A・Bの割合が低く、D・Eの割合が高かった。

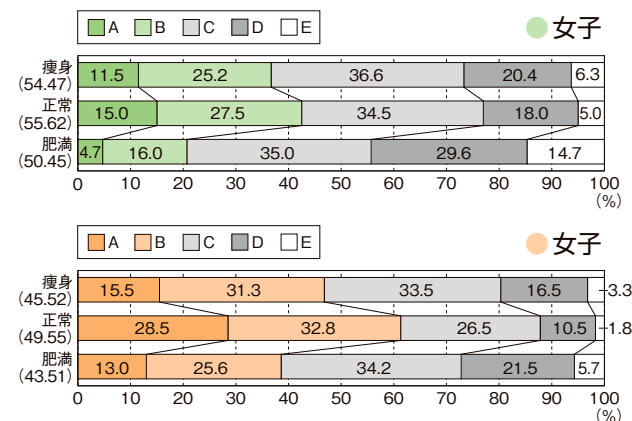
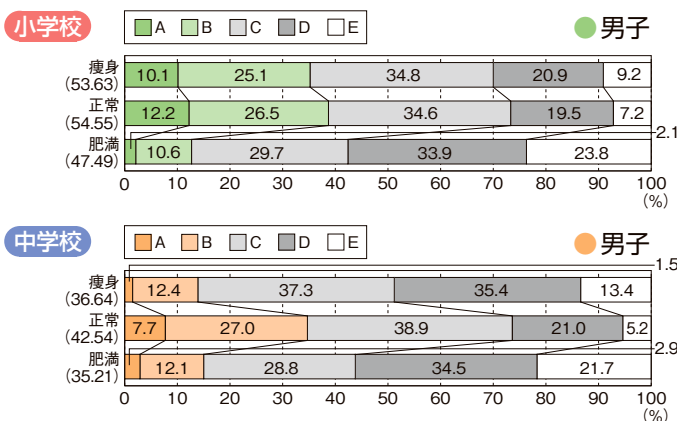
〔肥満・痩身別にみた1週間の総運動時間の分布〕

小学校





〔肥満・瘦身別に見た総合評価の割合〕



※ () 内の数値は体力合計点。

4. 人数規模別に見た体力、1週間の総運動時間との関連

これまでの調査結果は、学校種別（小学校・中学校）、性別（男子・女子）及び地域の規模別に集計を行ってきたが、本年度はさらに、学年の人数規模の視点を加え、集計を試みた。その結果、学年の人数規模別の平均値をみると、小規模校の方が総じて体力合計点は高く、1週間の総運動時間についても60分未満の割合は低く、420分以上の割合が高かった。

〔人数規模別の体力合計点・1週間の総運動時間〕

小学校		男子			女子		
人数(男子・女子ごと)	地域の規模	体力合計点	1週間の総運動時間が60分未満	1週間の総運動時間が420分以上	体力合計点	1週間の総運動時間が60分未満	1週間の総運動時間が420分以上
0~20人未満	大都市+中核市	54.08	5.8%	56.1%	56.05	11.2%	32.6%
	その他の都市	55.20	5.3%	58.1%	57.47	10.9%	35.0%
	町村+へき地	55.28	4.8%	58.3%	57.75	9.2%	36.8%
カテゴリ平均		55.04	5.2%	57.8%	57.31	10.5%	35.1%
20~60人未満	大都市+中核市	53.43	6.4%	55.3%	54.55	13.0%	30.3%
	その他の都市	54.05	7.0%	55.6%	55.50	13.5%	30.0%
	町村+へき地	54.04	7.2%	55.5%	55.61	13.5%	31.6%
カテゴリ平均		53.80	6.8%	55.5%	55.12	13.3%	30.3%
60人以上	大都市+中核市	53.32	6.4%	54.6%	54.30	12.8%	29.0%
	その他の都市	53.46	6.9%	53.9%	54.75	13.5%	28.9%
	町村+へき地	53.37	7.4%	55.5%	54.69	13.0%	29.2%
カテゴリ平均		53.39	6.7%	54.4%	54.52	13.1%	29.0%
全体平均		54.29	6.1%	56.4%	56.05	12.0%	32.3%

中学校		男子			女子		
人数(男子・女子ごと)	地域の規模	体力合計点	1週間の総運動時間が60分未満	1週間の総運動時間が420分以上	体力合計点	1週間の総運動時間が60分未満	1週間の総運動時間が420分以上
0~20人未満	大都市+中核市	40.17	7.4%	78.1%	48.63	16.5%	63.7%
	その他の都市	42.25	4.0%	87.1%	50.32	11.8%	72.5%
	町村+へき地	41.99	3.3%	87.2%	50.37	10.1%	74.7%
カテゴリ平均		41.90	4.1%	86.1%	50.15	11.6%	72.4%
20~60人未満	大都市+中核市	40.93	9.1%	77.3%	48.07	22.8%	54.8%
	その他の都市	42.19	5.7%	85.0%	49.51	19.1%	62.3%
	町村+へき地	42.44	5.3%	86.7%	49.51	17.4%	65.4%
カテゴリ平均		41.87	6.6%	83.1%	49.08	19.9%	60.5%
60~100人未満	大都市+中核市	41.24	8.1%	79.8%	48.19	23.0%	55.2%
	その他の都市	42.24	6.3%	84.3%	49.43	20.5%	60.6%
	町村+へき地	42.65	6.3%	85.1%	49.39	21.0%	61.2%
カテゴリ平均		41.86	7.0%	82.5%	48.91	21.6%	58.4%
100人以上	大都市+中核市	41.38	7.9%	80.4%	48.12	22.5%	55.3%
	その他の都市	42.02	7.0%	83.1%	49.16	20.9%	58.8%
	町村+へき地	42.68	6.8%	83.6%	49.26	19.6%	59.9%
カテゴリ平均		41.74	7.4%	81.8%	48.65	21.6%	57.1%
全体平均		41.86	6.3%	83.4%	49.22	18.8%	62.2%

※学年の人数規模・地域の規模別区分は、各区分に含まれる学校数・児童生徒数の割合を勘案して、小学校は9区分、中学校は12区分に分けて集計した。
 ※学校ごとに児童生徒の回答を集計し、得られた値(平均または回答比率)をもとに算出している。
 ※特別支援学校を除く。

5. 児童生徒に対する質問紙調査

(1) 体力・運動能力の高い児童生徒の特徴

児童生徒質問紙調査において、総合評価Aの児童生徒が最も肯定的な回答をした割合を全国平均と比較したところ、その差が大きい項目は次のとおりであった。

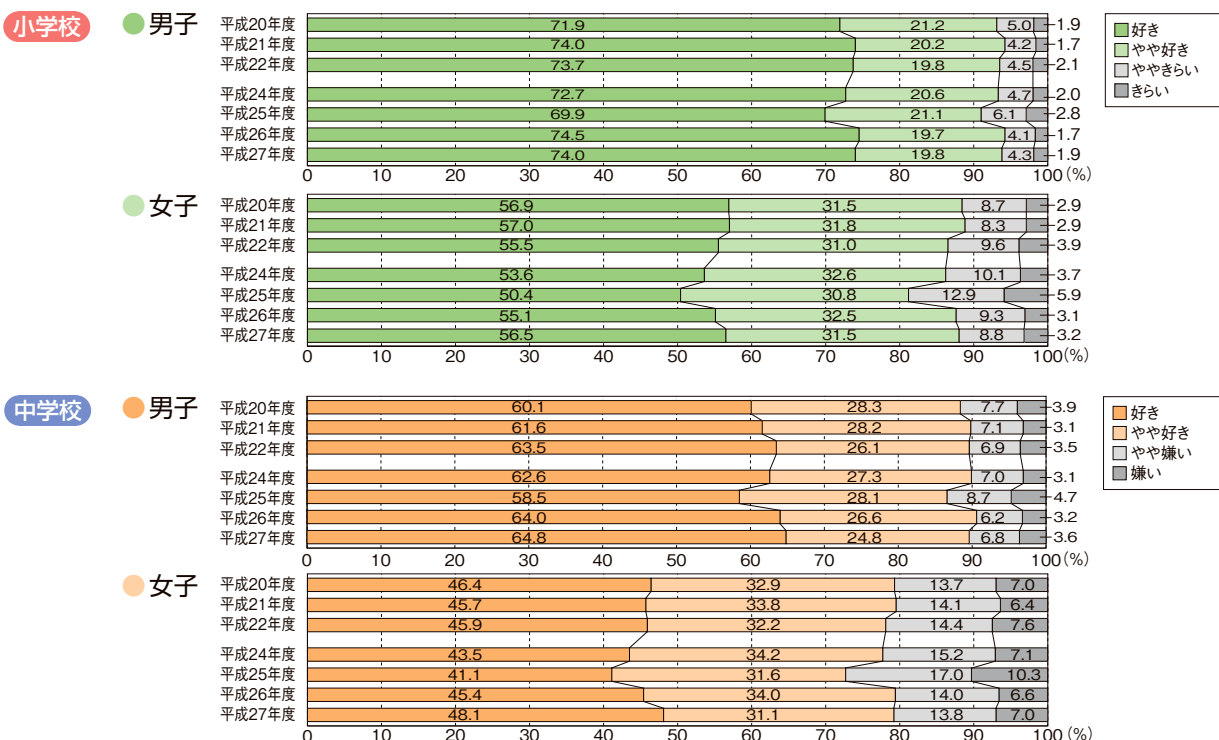
〔総合評価Aの児童生徒の最も肯定的な回答率が全国平均を上回った主な項目〕

	質問内容 ※()内は中学校の質問番号。	小学校男子			小学校女子			中学校男子			中学校女子		
		全国平均(%)	評価A平均(%)	全国平均との差(ポイント)	全国平均(%)	評価A平均(%)	全国平均との差(ポイント)	全国平均(%)	評価A平均(%)	全国平均との差(ポイント)	全国平均(%)	評価A平均(%)	全国平均との差(ポイント)
運動に対する意識	質問1 運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをすることは好きですか。	74.0	96.6	22.5	56.5	88.8	32.2	64.8	91.0	26.2	48.1	80.6	32.5
	質問2 運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをすることは得意ですか。	48.8	87.1	38.3	30.9	69.2	38.3	33.2	73.2	40.0	19.4	43.9	24.5
	質問3 自分の体力に自信がありますか。	27.1	58.0	31.0	14.6	37.4	22.8	13.3	36.5	23.2	5.9	14.6	8.7
	質問4 あなたにとって運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツは大切なものですか。	68.2	91.0	22.8	56.0	81.4	25.4	62.3	86.5	24.3	48.0	75.3	27.3
	質問6 中学校に進んだら、授業以外でも(中学校を卒業した後)自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。	73.6	93.8	20.1	65.5	87.4	22.0	66.5	88.6	22.2	53.4	75.5	22.1
	質問15 家の人から運動やスポーツを積極的に行うことをすすめられることがありますか。	28.2	42.5	14.3	17.9	29.1	11.3	21.3	35.7	14.5	14.9	25.1	10.2
家庭との関連	質問16 家の人といっしょに、運動やスポーツをどのくらいしますか。	35.8	52.5	16.7	27.0	38.3	11.3	9.6	15.6	5.9	7.3	10.7	3.4
	質問17 家の人といっしょに、スポーツをどのくらい見ますか。(テレビをふくみます)	39.2	59.2	19.9	24.8	34.1	9.3	18.6	28.9	10.3	9.8	13.9	4.1
	質問18 家の人といっしょに、運動やスポーツについてどのくらい話をすることがありますか。	46.8	74.1	27.3	33.1	56.1	23.1	40.3	64.8	24.4	30.9	52.5	21.6
健康三原則	質問19-1 あなたが健康でいるために次の3つは、どのくらい大切だと考えていますか。①運動を行うこと。	78.5	94.5	16.0	74.1	90.5	16.4	75.4	90.9	15.4	68.1	85.3	17.2
体育・保健・体育の授業に関する意識	質問20 体育の授業は楽しいですか。	72.7	88.4	15.7	59.4	84.2	24.8	49.6	69.3	19.6	38.5	60.1	21.6
	質問21 ふだんの体育の授業では、授業の始めに授業の目標(目当て・ねらい)が示されていますか。	46.4	57.1	10.7	44.8	53.4	8.6	51.5	61.8	10.3	49.0	54.8	5.8
	質問22 ふだんの体育の授業では、授業の最後に今日学んだ内容を振り返る活動を行っていますか。	28.0	35.1	7.1	25.9	30.9	4.9	37.3	47.2	9.9	37.3	42.6	5.3
	質問23 ふだんの体育の授業では、友達と助け合ったり、役割を果たすような活動を行っていますか。	45.5	59.8	14.3	48.7	61.3	12.6	42.8	57.2	14.4	47.8	58.3	10.5
	質問24 ふだんの体育の授業では、友達同士やチームの中で話し合う活動を行っていますか。	47.0	61.6	14.6	42.1	53.2	11.1	41.9	56.5	14.6	39.2	48.8	9.6
	質問25-1 体育の授業では、技や動きができるようになる。(そう思う、そう思わない)	84.4	93.6	9.1	84.7	94.6	9.8	84.5	92.9	8.4	81.8	92.2	10.4
	質問25-4 体育の授業で学んだことを、授業以外の時にも行ってみようと思う。(そう思う、そう思わない)	73.7	84.8	11.1	75.2	87.0	11.7	67.1	80.6	13.5	58.2	73.0	14.8
	質問25-5 体育の授業では、仲間と協力して課題を解決することがある。(そう思う、そう思わない)	80.6	87.8	7.1	81.7	88.4	6.7	80.0	87.8	7.8	80.5	86.7	6.2
	質問25-6 体育の授業では、練習やゲームで自ら工夫できる。(そう思う、そう思わない)	74.9	85.9	11.0	69.5	81.8	12.3	75.1	88.0	12.9	66.6	79.9	13.3
	質問27(29) 今、体育の授業で学習している内容は、あなたの将来に役に立つと思いますか。	53.2	67.5	14.3	42.5	56.7	14.2	43.7	60.2	16.5	30.3	43.2	12.9
投げる運動	質問28(30) 放課後や学校が休みの日に、ボールなどを使って投げる運動をすることがありますか。	51.8	74.7	22.9	28.0	47.9	19.9	47.9	70.9	23.1	29.0	50.8	21.8

(2) 運動やスポーツへの肯定感についての経年変化

運動やスポーツが「好き」の割合は、前年度に比べて中学校女子が増加し、小学校女子はわずかに増加した。

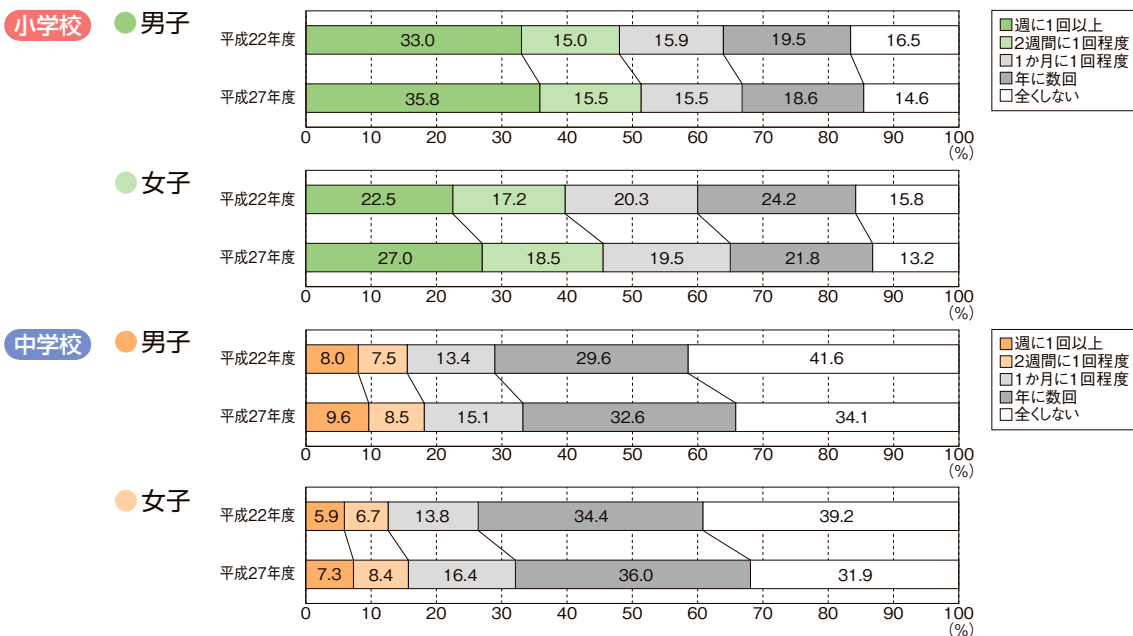
〔運動やスポーツの好き・嫌い〕



(3) 家の人と運動やスポーツをする児童生徒の状況

家の人と運動やスポーツを「週に1回以上」する児童生徒の割合は、小・中学校の男女とも同じ質問をした平成22年度と比べて増加した。

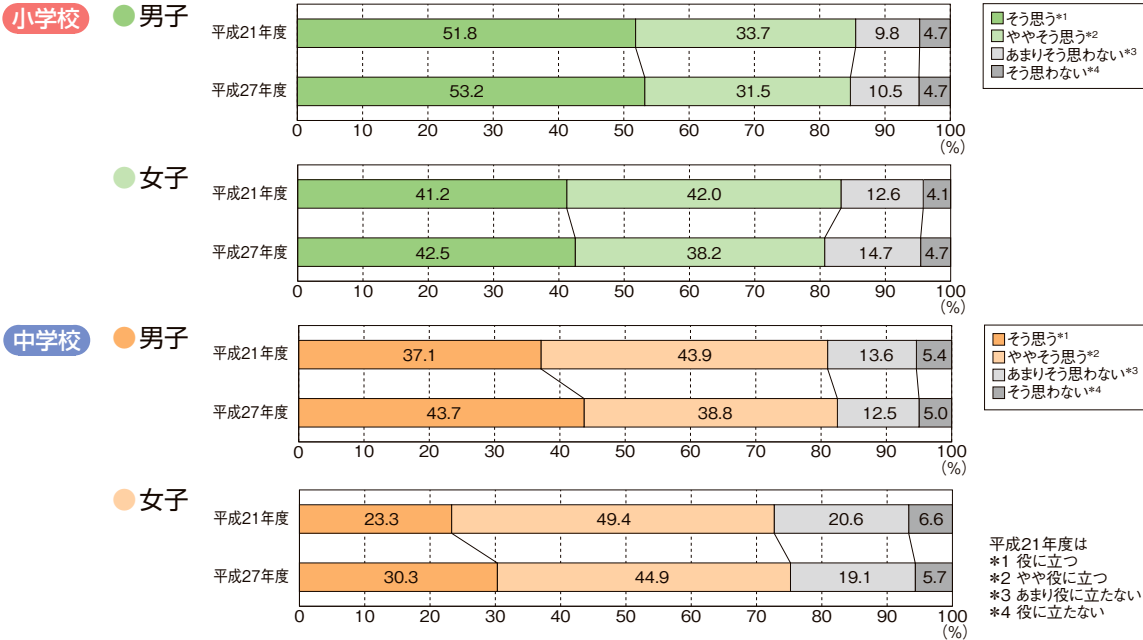
〔家の人と運動やスポーツをする頻度〕



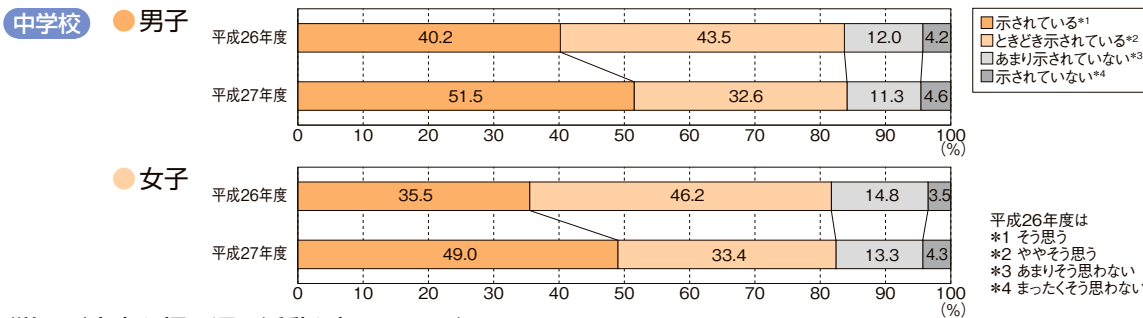
(4) 体育・保健体育の授業に対する受け止め

「授業は将来役に立つ」について「そう思う」と回答した児童生徒の割合は、特に中学校で、同じ質問をした平成21年度と比べて増加した。また、中学校では、「授業の目標を示されている」について「示されている」、「学んだ内容を振り返る活動を行っている」について「行っている」と回答した割合は前年度と比べて増加したが、小学校では「学んだ内容を振り返る活動を行っている」について「行っている」と回答した割合が減少した。

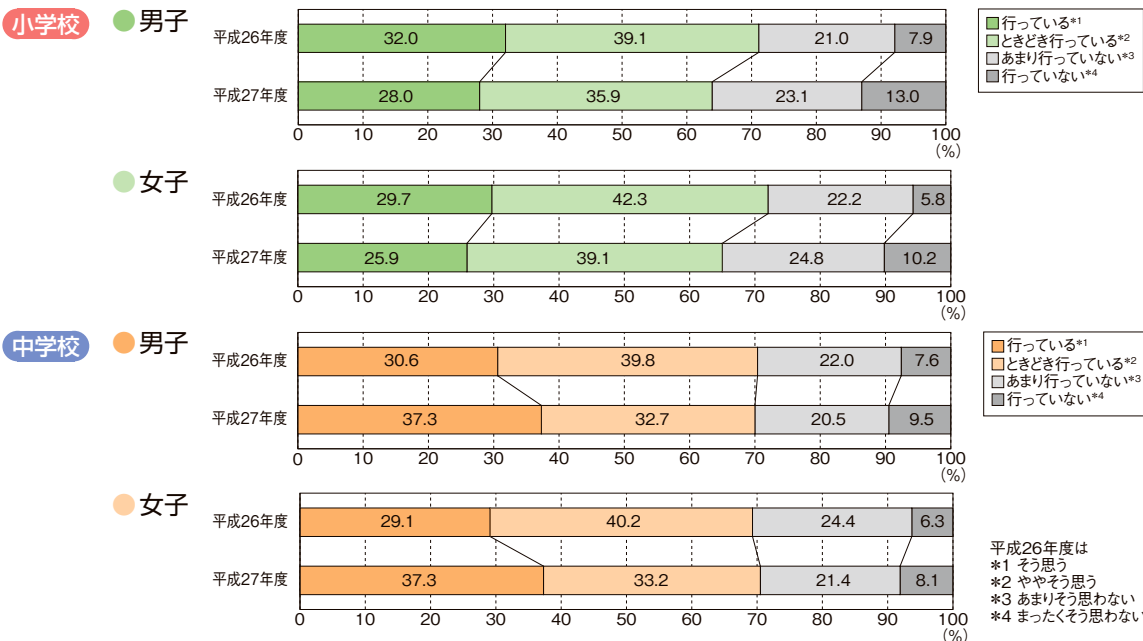
【授業は将来役に立つ】



【授業の目標を示されている】



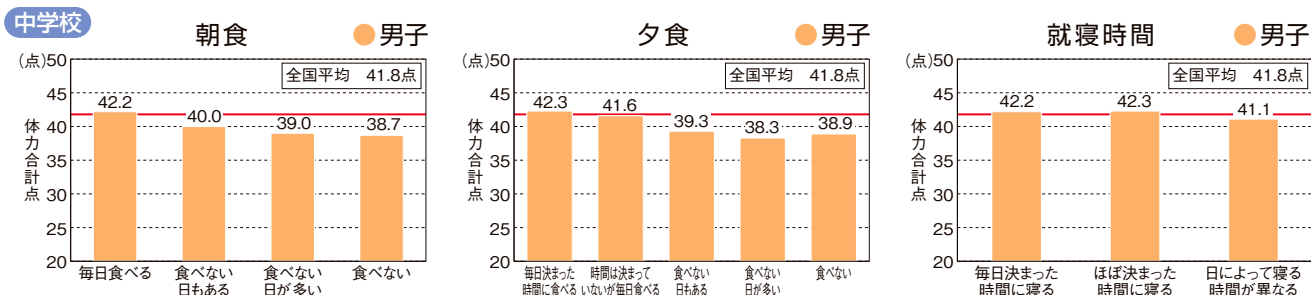
【学んだ内容を振り返る活動を行っている】



(5) 生活習慣と体力との関連

「毎日朝食を食べる」「決まった時間に夕食を食べる」「決まった時間に寝る」など、規則正しい生活習慣が身に付いている児童生徒の体力合計点は、小・中学校の男女ともに高かった。

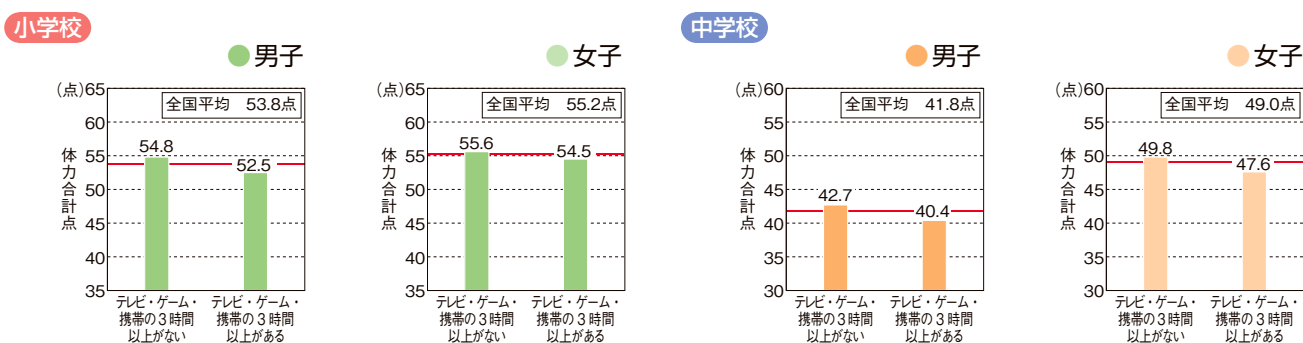
〔生活習慣と体力合計点との関連〕



(6) テレビ、ゲーム、携帯電話等の利用と体力との関連

テレビ、ゲーム、携帯電話やスマートフォンのいずれかの使用が長時間になると、体力合計点は低い傾向にあった。

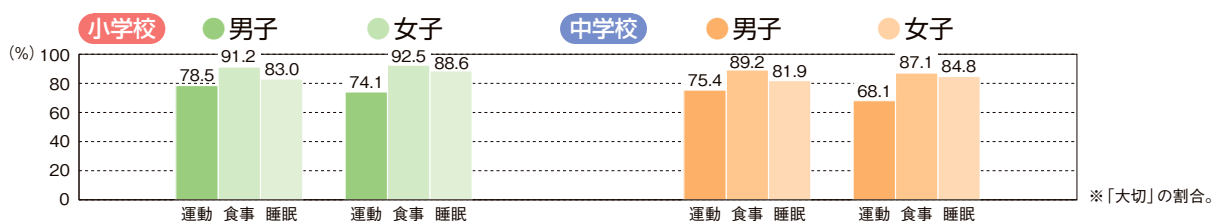
〔テレビ、ゲーム、携帯電話等と体力合計点との関連〕



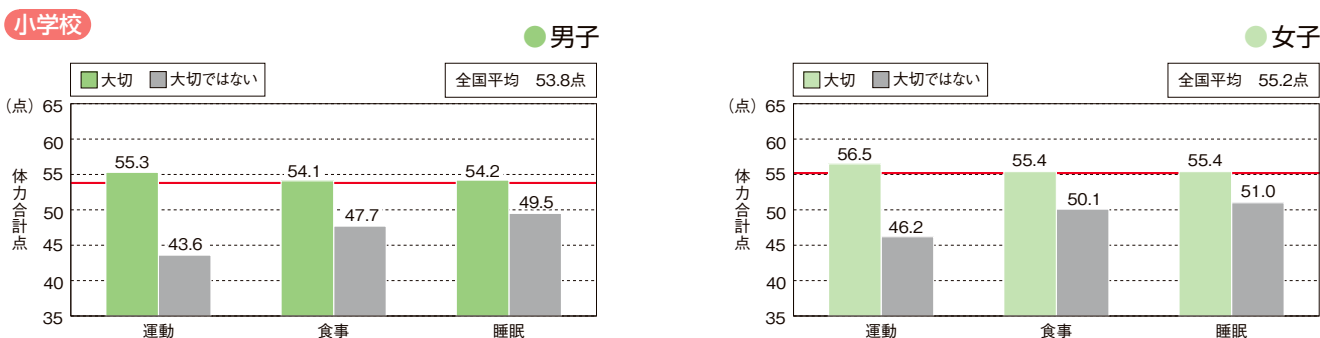
(7) 健康三原則と体力との関連

健康三原則と言われる「運動」「食事」「睡眠」の3つについて、どのくらい大切だと考えているかを質問した。その結果、食事や睡眠に比べて、運動に対する意識は低かった。また、「運動」「食事」「睡眠」を大切だと考えている児童生徒の体力合計点はほかの児童生徒と比べて男女ともに高く、特に運動を大切だと考えている児童生徒の体力合計点は、大切ではないと考えている児童生徒に比べて約10点以上高く、その差は食事、睡眠に比べ大きかった。

〔「運動」「食事」「睡眠」をどのくらい大切だと考えているか〕



〔「運動」「食事」「睡眠」をどのくらい大切だと考えているかと体力合計点との関連〕



6. 学校に対する質問紙調査

(1) 体力合計点の高い学校の取組

体力合計点の平均値が高かった学校（上位10%）における取組の実施率を全国平均と比較したところ、その差の大きい項目は次のとおりであった。

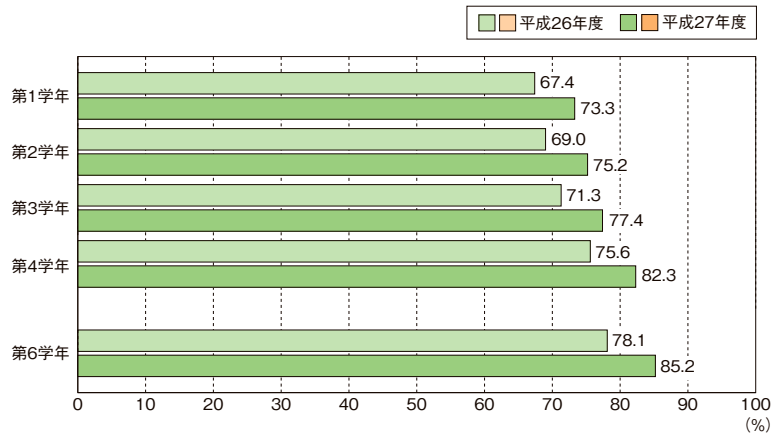
〔「体力」上位校の取組実施率が全国平均を上回った主な項目〕

質問内容 ※（ ）内は中学校の質問番号。	全国平均 (%)	小学校男子		小学校女子		全国平均 (%)	中学校男子		中学校女子	
		上位校平均 (%)	全国平均との差 (ポイント)	上位校平均 (%)	全国平均との差 (ポイント)		上位校平均 (%)	全国平均との差 (ポイント)	上位校平均 (%)	全国平均との差 (ポイント)
質問 1 学年の授業以外の体力向上の取組	87.0	93.9	7.0	94.8	7.8	68.6	77.8	9.2	78.3	9.7
質問 2 全ての児童生徒の授業以外の体力向上の取組	89.1	95.7	6.6	96.0	6.9	63.2	74.1	10.8	74.7	11.5
質問 3 学年の学校教育活動外での運動実施状況の把握	72.0	88.2	16.2	89.1	17.1	80.8	91.3	10.5	90.1	9.3
質問 4 学年の目標の設定	56.2	68.9	12.6	70.7	14.5	56.0	66.5	10.5	66.9	10.9
質問 5 学校全体の目標の設定	62.6	75.1	12.5	77.1	14.5	53.4	64.6	11.2	66.2	12.8
質問 6 授業の指導方法等の工夫・改善	85.6	91.2	5.7	90.2	4.7	94.1	95.6	1.5	95.5	1.4
質問 7 学年の授業以外での運動時間確保の取組	87.2	93.6	6.4	94.0	6.8	63.4	70.3	6.9	71.3	7.9
質問 8 学年の生活習慣改善の取組	80.8	88.1	7.3	90.8	10.1	65.8	74.2	8.4	71.1	5.3
質問 9 学年の家庭への説明・呼びかけ	67.6	79.0	11.4	81.0	13.4	43.1	53.2	10.0	51.4	8.2
質問10 授業の冒頭で目標を示す活動	37.3	41.5	4.1	39.5	2.2	54.4	59.1	4.7	56.3	1.9
質問12 授業での助け合い、役割を果たす活動	31.4	36.1	4.7	37.1	5.7	40.0	43.6	3.6	42.2	2.3
質問17 健康三原則の大切さの指導	28.6	32.3	3.7	35.4	6.9	23.8	24.8	1.0	24.6	0.8
質問20(26) 調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善	44.3	57.3	13.0	58.3	14.0	41.8	54.4	12.5	53.9	12.1
質問21(27) 結果資料CDの活用	58.1	67.8	9.6	68.1	10.0	50.9	60.8	9.9	60.6	9.7
質問22(28) 活用シートの活用	53.8	63.5	9.7	64.5	10.7	52.5	64.3	11.8	62.0	9.5
質問23(29) 事例校の実践を参考にした取組	32.0	40.5	8.5	41.9	9.8	24.0	31.9	7.8	29.7	5.7
質問24(30) 学年の担当教員以外とも情報共有	74.5	82.8	8.3	83.6	9.1	68.4	76.1	7.6	73.9	5.4
質問25(31) 調査結果の公開	23.9	31.6	7.7	30.7	6.8	14.5	21.9	7.4	19.8	5.2

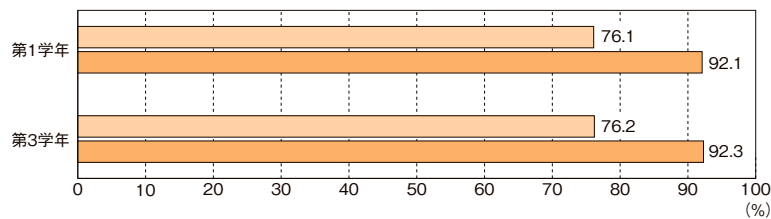
(2) 調査対象学年以外における新体力テストの実施状況

小学校の第5学年以外の学年における新体力テストの実施率は前年度が67.4～78.1%であったが、本年度は73.3～85.2%に増加した。中学校の第2学年以外の学年については、昨年度が76.1%（第1学年）、76.2%（第3学年）であったが、本年度は92.1%（第1学年）、92.3%（第3学年）に増加した。

小学校



中学校



7. 教育委員会に対する質問紙調査

経年比較

経年比較の観点から、前年度より回答率が上がった主な取組は、以下のとおりであった。

- ①前年度の調査結果を受けた取組を行った市区町村が、前年度は43.8%であったのに対して、本年度は63.9%に増加した。
- ②健康の保持増進との関連を図った体力・運動能力の向上に関する施策や取組を実施している市区町村は、前年度は60.3%であったのに対して、本年度は68.7%に増加した。
- ③幼児の運動促進のための取組を行っている市区町村は、前年度は28.3%であったのに対して、本年度は35.3%に増加した。
- ④中学校女子の運動・スポーツ実施の意欲喚起、実施促進のための取組を実施している市区町村は、前年度は17.4%であったのに対して、本年度は28.7%に増加した。